

ディーラーの独り言（2018年1月15日）

◆本日の予想レンジ

ドル円 110.85～111.75

ユーロドル 1.2080～1.2215

先週金曜日のニューヨーク時間に発表された12月の米消費者物価指数のコア指数が前月比0.3%と予想(0.2%)を上回り、12月小売売上高も前回前月比、コア部分ともに上方修正される強い結果となった。これを受け、ニューヨーク株式市場は主要3指数揃って史上最高値を連日更新、依然足元の米経済の力強さを感じるマーケットとなった。ただドル円は指標発表直後に111円10銭から一時111円70銭水準まで切り上げたものの、ドル買いは長続きせず再度111円台前半まで反落した。その後も米国市場の3連休を控えたポジション調整もあり、ニューヨーク時間終盤にかけて111円を割り込み、110円92銭の安値を付けてしまった。前日に112円を上回ることが出来なかったことや、マーケットが200日移動平均線を強く意識していることもあるのか、引き続き上値の重さを感じさせた。本日は米国市場が休場となることもあり、ドル円を大きく買戻すのは難しいだろう。よって111円30銭を中心に上下40銭のレンジトレードでいきたい。もっとも一番目立つ動きとなっているのがユーロで、ユーロドルが2014年12月以来の高値1.2288ドルまで上昇した。ドイツで大連立政権樹立に向けて暫定合意したことが強く影響している。ユーロについてはその前日欧州中央銀行(ECB)の理事会議事要旨でのフォワードガイダンスの変更を受けマーケットが強気になっていたこともあり素直に反応した。ただ大連立に向けては依然としてハードルがあり一辺倒にはいかないだろう。それでも短期的には押し目買いのスタンスで、1.2100ドル台前半で買いを仕込み、1.2200ドル超えのところで利食いだろう。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。